



初めに、しっかりと枯らしましょ。

初期除草剤は
1成分がいい。

水稲用初期除草剤

アルハーブ

フロアブル

田植同時処理も
できます。



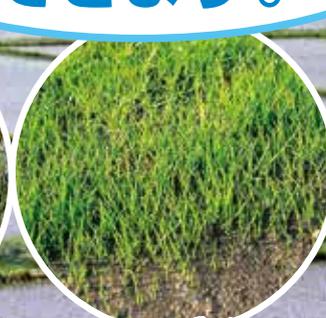
ヨナギ



アゼナ類



ノビエ



マツバイ

特長

- ①ノビエをはじめとする一年生雑草とマツバイに対して高い効果を示します。
- ②単一成分で安定した除草効果を発揮します。
- ③田植同時処理が可能です。

■適用雑草および使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	テニクロールを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ	植代後～移植前7日 または 移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで	500mℓ/10a	1回	原液温水散布	2回以内
		移植時			田植同時 散布機で施用	

上手な 使い方

①植代後～移植前7日、または移植時～ノビエ1葉期までに散布してください。さらに、移植後15～20日に一発処理剤または中・後期剤を体系で処理してください。

②ホタルイや多年生雑草が多い水田に使用する場合は、後処理剤に有効な一発処理剤を使用してください。

③散布後3～4日は通常の温水状態を保ってください。

④10アール当りの散布量は500mℓです。



■使用上の注意事項

- 使用前に容器を軽く振ってください。
- 本剤は雑草の発生前から発生始期に有効なので、時期を失しないように散布してください。特に一年生広葉雑草の多発田では効果にふれが出るので使用をさけてください。また、必要に応じて移植後に使用する除草剤との体系で使用してください。
- 苗の植付けが均一となるよう代かき、均平化及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 散布の際は水の出入りを止めて、温水状態(温水深3～5cm)のまま本剤を水田全面にゆきわたるように散布し、少なくとも本剤散布後3～4日間はそのまま温水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 下記のような条件では薬害が発生するおそれがあるので、使用をさけてください。
 - 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)
 - 軟弱苗を移植した水田
 - 極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田
 - 稲の根が露出している水田
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

■安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
 - 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
 - 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
 - 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
 - かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
 - 水産動物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
 - 水産動物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
 - 散布後は水管理に注意してください。
 - 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は平成28年10月現在の知見に基づいて作成されております。 1339(16-10)